

「令和5年度 香芝市まちづくり提案活動支援事業」に採択された市民団体の皆さまと、香芝市のまちづくりに
ついて、意見を交換いたしました。

～五位堂地区活性化倶楽部の活動内容～

五位堂地区を中心に防災講演会や救命講習会を開催し、
地域の防災力向上を目指す。

防災講演会では特に「タイムライン防災」という、災害の発生を前提に「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目し、災害発生時の行動とその実施主体を時系列で整理した防災計画についての学びを深める取組を行っている。



～テーマ～ 地域の防災力向上について(内容の一部をご紹介します)

[◆:団体からのコメント / ○:市長からのコメント]

◆ 私はこれまで40年近く消防職員として勤務しており、現在はそちらの経験を活かし、地域の安心と安全の向上のために、市内の保育所や老人ホームなどで防災講演会や救命講習会を開催しています。その中でいつもお話しているテーマが、非常時に最も大切なことは、「次に何をすべきかを考える」ということです。講習会にご参加頂いた皆さまには、聴講だけではなく、実際に災害や事故が起こった場合を想定して、次にどう動くべきか、何が必要か、それらを時系列に考えて頂くという体験型の講習を心がけております。

○ ご自身のお仕事で得た知見を、こうして最大限の形で地域のために還元して頂き、とてもありがたく感じております。自然災害や事故の最大の恐ろしさは、いつ起こるか分からないという点にあり、非常時はだれしもがパニックになってしまうものです。だからこそ、日頃からこうしたデモンストレーションによる気づきを通して、万が一の事態にとるべき行動をあらかじめ家族と話し合ったり、準備すべき物資を常日頃から確認するというのは本当に大切なことです。市としても、そうした普段からの備えの重要性について引き続き周知・啓発を進めて参りたいと考えております。

◆ 私の住むマンションでは、受水槽にある40톤の水を、災害時にロープを使って汲み上げることができるシステムが導入されました。また、そのシステムを活用するための訓練も、マンションの住民どうしが協力して、定期的に行われております。まずはこうした草の根の小さなところから、自分たちで出来る限りのことを始めてみる。それが地域防災という取り組みの、大切な第一歩だと考えております。

○ とても興味深いシステムですね。非常時に使用できる40톤の水というのは、マンション全体にとっての大きな付加価値になると思います。また、それが持ち腐れとならないよう、ソフト面もしっかりと住民の皆さままでカバーされているという点に、一層の素晴らしさを感じました。我々行政も、こうした民間の取り組みに学ぶべき点がまだまだ多くあるものと実感します。今後とも香芝市の防災力向上のため、引き続きお力添えのほど、どうぞよろしくお願いいたします。

